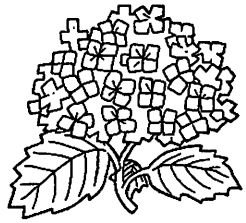
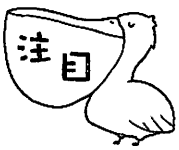
出会いをもとめて



2020 . 6. 23

大島学園図書室

ときどきホトトギスの鳴き声が聞こえているのに気がついた人もいるでしょう。鳴き声は「テッペンカケタカ」や「特許許可局」と聞こえます。鳴き声に特徴がありますが、子育てにも特徴があります。どんな子育てをするのか、調べてみてみませんか？



6月3日(水)の朝日新聞に「命のビザ　もう1人の功労者」という記事が載っていました。「宮崎市出身の外交官、根井三郎が第二次世界大戦中、ナチスに迫害されたユダヤ人に独断で発給した日本通過ビザ(査証)が見つかった。」(記事一部抜粋)というものです。「命のビザ」を発給したことで知られているのは、杉原千畝(すぎはらちうね)さんです。
『杉原千畝物語 命のビザをありがとう』『約束の国への長い旅』を読んでみませんか。

6月10日(水)の毎日新聞には、「福岡空襲 失われた命と伝統文化　市民団体が歴史案内看板設置へ」という記事が載っていました。「1945年6月19日午後11時過ぎから20日午前1時前にかけ、約220機の米軍爆撃機(ばくげきき)B29が福岡市上空から無差別に焼夷弾(しょういだん)を投下、市中心部を焼き尽くした。」(記事一部抜粋) 当時、大島からも赤く燃え盛る福岡の町の空が見えたそうです。この福岡大空襲の証言が書いてある本『火の雨が降った 6・19福岡大空襲』『火の雨がふる　長編アニメーション「火の雨がふる」より』を読んでみましょう。

新　刊

新しい本が入りました。

『天使のにもつ』 いとう みく/著 (91.3イ)
斗羽風汰は中学2年生。6月に5日間の職場体験が行われる。風汰の体験先はエンジェル保育園になった。子どもとあそんでいればいいと考えていた風汰だが…。

『ヘスースとフランシスコ エル・サルバドル内戦を生きぬいて』長倉洋海(ながくらひろみ)/著(25ナ)
著者がフリーランスの報道カメラマンになって、内戦の続いていたエル・サルバドルを訪れ、難民キャンプで出会ったヘスースを何年も追って取材した。

基町高校は、アニメ映画「君の名は。」の瀧君が通っていた高校のモデルらしいよ

『平和のバトン 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』弓狩匡純(ゆがりまさすみ)/著 (31ユ)
広島の被爆体験者の記憶を広島県立基町(もとまち)高校創造表現コースの生徒たちが油絵に描いて記録する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクトについて書かれている。

他にも『11番目の取引』　『紛争地の看護師』があります。